

新型コロナウイルス対策に係る沖縄県の経済対策基本方針（概要）

【改定概要】

◇感染対策の徹底やワクチン接種の推進を前提とし、「ワクチン検査パッケージ」や「第三者認証」を活用することで、感染防止対策と経済活動の回復に向けた取組の両立を図ること。

◇新型コロナウイルス感染症の収束を見据えつつ、本県経済の回復に向けた「回復期出口戦略」「成長期出口戦略」の取組を着実に進めること。

<経済対策の基本方針>

(1) 安全・安心の島沖縄

◇経済再開の前提となる水際対策の強化や医療体制の拡充、ワクチン接種の推進などに取り組み、「安全・安心の島沖縄」の実現を目指す。

(2) 経済の礎を築く取組

◇全ての産業の基盤となる「事業継続」「雇用維持」の支援を継続し、感染流行期における事業者支援や感染状況に応じた需要喚起及び経済活性化を図るための取組を行う。

◇緊急事態宣言下等の行動制限下においても、「ワクチン・検査パッケージ」や「第三者認証制度」を活用し、感染防止対策と経済活動の回復に向けた取組の両立を図る。

◇「新しい生活様式」に対応した業態転換や、「新たな価値創造」を図るDXに対応したビジネスモデルへの移行を促進するため、中長期的な復興・発展に向けた取組を行う。

【経済対策】 感染収束を見据えつつ重層的に取り組む施策等

回復期出口戦略

長引くコロナ禍による影響を受けた事業者の支援を継続しつつ、落ち込んだ需要を回復させるための施策の実施や、ワクチン接種証明等や感染防止対策認証制度を活用した取組、業態転換を促す施策等を実施する。

成長期出口戦略

デジタルトランスフォーメーション(DX)への移行推進やイノベーションの促進等により生産性や付加価値を高める施策を実施する。また、ポストコロナを見据え、リーディング産業である観光関連産業等、本県の潜在力を最大限に引き出す施策を推進。

沖縄県の経済対策基本方針に基づく新型コロナウイルス感染状況に対応した出口戦略ロードマップ

